

# 高退協ニュース

高知高退教  
事務局

2007・7・3

NO.147

高知県高等学校退職教職員協議会  
〒780-0850 高知市丸ノ内2丁目1-10  
TEL 088-1822-1682  
FAX 088-1822-1682  
郵便振替口座 01665012111893

## 学校現場を見よ

全退教総会報告

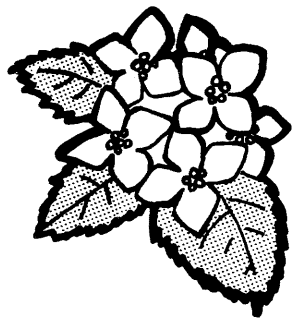
三谷隆彦

全日本退職教職員連絡協議会(全退教)第十七定期総会が六月六日から一泊二日伊豆長岡で開かれ、全国から四四組織八八人出席した。高知からは四国担当中田一元幹事、高知県退教協の川崎雅宏事務局長、初参加の私であった。経過報告で特筆すべきは、臨時に全国代表者会議を開き教育基本法改悪反対運動を展開したことである。執行部提案の本年度運動方針に対し私は、教育関連法改悪を先取りし教育現場は大きく変わっている、明年度の方針には「学校現場を見よ」の追加を要望すると発言した。磨田満事務局長は「今年度の方針に盛り込む。文章化して総会終了後全国へ送る」とのことでした。総会の詳細は後日配布される筈である。

## 高知9条の会アピール

高知市民の皆さん、高知県民の皆さん、私たちは「高知九条の会」でございます。憲法9条を守る活動をしていきますので、どうかご協力をお願い致します。九条の会は、ノーベル賞作家大江健三郎さん、国民的作家井上ひさしさん、現代最高の知識人加藤周平さん、元総理夫人三木睦子さんなど、様々な文化人・知識人達の呼びかけで、政党派や思想信条の違いを越えて、平和憲法九条を守るという一点で結集した会です。九条の会は、全国的には六千組織を突破し、憲法九条改悪反対の世論を広く深くまき起してきています。高知でも、元社会党県議会議員栗原透さん、元参議院議員西岡瑠璃子さん、自民党県議員で県連幹事長の要職にあつた平山公敬三、同じく自民党県議員で須崎市長を務めた梅原一さん、県立大学長を務めた池川順子さん高知市図書館長として全国の図書館発展をリードした渡辺進さんほか、大学教授や弁護士さんなど様々な立場の政治家・知識人・文化人の呼びかけに

会場になった旅館の庭に母子像の彫刻があり、各階の廊下には東郷清児の作品をはじめ洋画水墨画など展示されており、美術館ホテルのようであった。総会終了後、『伊豆の踊り子』で有名な新緑に輝く天城峠を越え、幕末開港の舞台になった下田港へ足を伸ばした。一八五六年、下田の玉泉寺境内に米国総領事館が置かれた。同寺本堂前に乳牛の像がある。当時日本には牛乳を飲む風習がなかったが、初代総領事ハリスはこの寺で牛乳を飲んだ。よって玉泉寺が日本牛乳発祥の地とされている。



よって、二〇〇四年一二月に高知九条の会が結成されました。県下市町村や職場などでも四〇を超える九条の会が生まれ、活発に活動しています。土佐清水市・大月町・旧十和村・西土佐村などでは、すでに有権者の過半数の署名を集めました。政府与党は、環境権などで飾り付けながら、自衛隊を軍隊として認め、アメリカとくんで世界中何処でも戦争の出来る国にするために、九条に的を絞った憲法改悪をめざしています。安倍総理は日本を美しい国にと言っていますが、戦争をする国にすることが、どうして美しい国作りといえるのでしょうか。人間同士が頃合をする戦争ほど、残酷非道で醜いものはありません。また、戦争ほど凄まじい自然環境の破壊もありません。憲法九条を守ることは、日本と世界の平和を間々あり、大切な自然環境を守っていくことでもあり、これこそ国民の命を守る美しい国作りのために、今もつとも大切な取り組みにほかなりません。戦後六〇年に渡って平和で豊かな日本の国作りを支えてき

## 草声老語 『高知城は県民の宝』

に寄せて

昨年、高知城西側(旧営林署)テニスコート跡地にマンションが建てられようとした寸前、遺構・遺跡が出土しました。それを聞いた市民たちの運動の結果、県が買戻し高知城史跡に追加が決定しました。この五月のことです。

十六日には業者の説明会がありました。古代遺跡の真上の部分に建築計画です。ここは北曲輪地区といい高知城の一郭をなし、県自体も〇四年三月「史跡高知城整備計画」書の『直接的計画の範囲』の線引内にあり、景観上も「天守へのビューポイント」(同書)と位置付けています。六月高知県議会・同市議会には公有地化の請願書を提出します。また、『高知県民・市民のアイデンティティを失わないために』高知城を百年後、二百年後に向けての復元...も視野に入れながら、この運動の中で、この六月二十日、冊子『高知城は県民の宝』B5版、九六ページ)を発行します。是非この運動の支援を含めての購入をお願いします。梅原憲作・高知城跡の遺跡と整備を考える会代表

## 夏期学習会のご案内

恒例となりました、夏期学習会を左記の日程で行います。多数の参加をお待ちしています。

日時 八月二十五日(土) 午後二時から

場所 高知城ホール

講演内容 1.「今学校現場では」

講師・武田 豊さん (高知工業高教諭)

2.「歴史民族資料館の果たす役割」

講師・坂本正夫さん (前歴史館館長)

## 活動日誌

【5月】

24日 県高齢者運動連絡会総会

【6月】

5日 第2回事務局会

6日~7日 全退教総会

9日 革新懇総会

20日 四プロ代表者会

二〇〇七年度役員

顧問 岡崎清恵  
 会長 濱田昌俊  
 副会長 三谷隆彦  
 事務局長 小島真子  
 常任委員 小澤幸次郎  
 原淳  
 西田令子  
 田所昌純  
 河村幸恵  
 中村正博  
 渡辺正子  
 土居正明  
 梶原祥三  
 宮川敏彦  
 松山和雄  
 山脇正照  
 千葉繁之  
 南千加良  
 林応子  
 坂本敬子  
 鎌田伸一

新加入者紹介

岩原教子 吉岡恭子  
 山崎昭夫 梶原信子  
 南文子

退任のご挨拶

今年でもって役員委員を退任し、気分的にほっとしました。

仕事を役割として、高教組・高退協を通じての仲間だから、きつとやってくれたら、きつと案外楽観的に考え九年度の今日に至りました。役員を去るにあたって、度々一回の事務局会、現職時とは違った様々な人々の出会いがあり、楽しい出会いであったと思えます。これからも高退協が豊に育つために、事務局員には、女性・色々の参加が、事務局長へのお誘いがあります。どうもありがとうございます。

退任のご挨拶

「何も意見が出ん。まるで自民党のシャンシャン大会だ」が10年前はじめて出席した高退協総会に対する某先輩の感想でした。そして、同じような総会が続いた。

だが今年の総会は数十年前の高教組、いや高等教組の定期大会の様相を呈した。それだけ情勢が悪化しているのだ。役員の一々として、身を持ちめて聞く。その一方で、共通の職場を持たない高齢者組織の意思結集の難しさを思う。

年々進化していく組織には、錚々たるメンバーが集い、後顧の憂いはない。7年間お世話になりました。(上岡積)

俳句

6月16日(土)  
高知城周辺

合田青幹

方陰や、梁、太き追手門  
 一邸の曲り廊下の端居かな

田所たねお

傾きし夾竹桃に千の風  
 菖蒲田の売り娘の声す話好き

吉本伸秋

緑陰てふ深き、機鳥の影  
 四百年刻む日時計苔の花

中内英明

片陰の深し、棟の登城口  
 梅雨晴の路面電車の灼けて着く

中内みち代

追憶の庭の梧桐寅彦居  
 咲き揃ふ亭午の日差し未草

小笠原さちを

千代女像名馬嘶く五月晴  
 板橋に噴水かかる風の向き



五〇回日の平和行進に参加

核兵器廃絶を願う原水爆禁止世界大会を目指して全国各地を歩く「原水爆禁止二〇〇七年国民平和行進」四国コースが十六日、高知市に入り、市内五コースに分かれて行進しました。私は、東京から送られてきた「日本宗教者平和協議会」のぼり旗とともに、「高知宗平協(キリスト者平和の会)」代表として参加しました。行進後には高知市役所前で集会が開かれ一九〇人が参加しました。「高退協」の旗は見えませんでした。

集会では、和田忠明・高知原水協代表理事が、「核兵器廃絶へ国際政治を動かす世論をつくる運動を」とよびかけました。また、岡田はるか・ピースパイオニア委員は、「多くの人と学びながら身近な問題にしていきたい」と決意表明しました。

増税通知に絶句 住民税が倍増

市役所が発送した六月からの住民税の納税通知書が届いた。その増額ぶりには驚いた。詳細は省略、その内容を報告する。

昨年度 七七、三〇〇円  
 今年度 一五四、五〇〇円  
 丁度、倍額である。因みに、一昨年は三五、七〇〇円であったから、倍、倍と増えてきたわけ。また、所得税の方も確定申告では差引き一〇、六八〇円の増額となっている。年金問題を含めて、一日も早く「汚い政権」を「美しい政権」にと痛切に思う。あらゆる面での反動化が急速である。七月参議選での前進を心から期待するものである。(T)

温泉昼食会

日時 2007年10月11日(木)  
 行先 中津溪谷 ゆの森

親睦旅行

日時 2007年11月8日(木)~9日(金)  
 行先 万福寺 びわ湖 近江八幡

温泉昼食会・親睦旅行いずれも詳しい案内を別紙で同封します。参加をお願いします。

二〇〇七年度議案への追加

(事務局より)  
 総会時にだされたご意見をふまえて事務局で検討し、以下のことを議案書に追加変更します。

- ① 活動の重点
  - (1) 消費増税阻止、年金・医療・介護保険の改悪など国民的課題の取り組みに参加します。また、会員相互の扶助の運動にとりくみます。
  - (2) 憲法改悪阻止、教育基本法改悪の具体化を許さない取り組みを進めます。
  - (3) 革新懇運動に参加します。

- ② 活動計画への追加
  - (1) 子どもと教育を守る連絡会の運動に参加します。
  - (2) 高知県人権共闘会議の運動に参加し、人権と民主主義の発展に取り組みます。
  - (3) \*地域で行っている「九条の会」の運動に積極的に参加します。

初仕事の失敗

三谷隆彦

高教組組合員で本年三月退職者の苦勞をねぎらい、高退協への加入を歓迎する宴会が四月末に高知城ホールで開かれた。宴会の始まる一時間前に私は高退協の会長に就任した。初仕事は宴会で乾杯の音頭をとることであった。乾杯の前置きに「近年若年退職者が増加している。なぜ増えるか。それは県教委による教職員に対するいじめである」と私は述べた。お城を越えて西側へも響くように大きな声で言ったので、満場の拍手を受けるかと期待した。しかし一人も拍手しない。見回すと片手にビールに入ったコップを持っていてから手を打てないのかと思つた。それどころか座が白けた。どうしてだろうか。初仕事は失敗であった。窮屈な酒も酔うほどに和やかになった。若い組合員が話す学校現場の様子に耳を傾けた。意外なことに私が述べた「いじめ」は、あまりにも現実的で深刻で声が出なかつたとのことである。教職員は年度始めに、その年度の到達目標を校長に提出し、年度末に校長が評価して、評価が良ければ賃金上がり、悪ければ据え置きだと言う。学校現場は私の想像を越えて変わっている。職員会は諮問機関でもなく協議機関でもなく、校長の命令伝達機関になつていく。校区を緩めて入学生が多い学校は増築し、少ない学校は廃校にする。国家統制と市場原理が学校に持ち込まれている。これらの変化は教育基本法の改正とはどんな関係があるだろうか。退職当時、学校の話を知ると腹が立つので聞かないことにしていた。しかし、もう逃げ腰ばかりではおれなくなつた。



法経堂の道

K2への山旅を決意したが、体調が心配である。昨年の秋、大腸癌(術後の告知)の手術を受けたが、依然として便秘が続いている。それに前立腺肥大による排尿機能の異常が生じた。幸いにも「死に至る病」ではないが、体調を整えることが求められている。とりあえずの対応として、朝の散歩を強化することにした。

久万川畔のコースからは北山の連峰に点在する送電鉄塔がよく見えるが、一本、際立った鉄塔がある。比島の北あたりに天高く聳えている。探索に出掛けた。結局、高知インターの北まで足を運んだが、お目当ての鉄塔には出会えな

かった。それから何回目かの探索で、「法経堂」なる道標に出会った。懐かしい名前である。往時、正蓮寺方面の散策では、薊野と小坂峠間の往還を利用した記憶がある。その山道には飛脚の怪談話が残

秦東寺庭月日記  
坪井 幹之

つていた。その舞台が法経堂である。度々、この道を通ったことがあるが、忘却の彼方に沈んでしまっていた。道標を見て思い出した。よし、この峠道を探索してみようと、その後、何回か訪れた。問題

の法経堂跡には地藏菩薩の石仏などが残っていた。道は小坂峠の東方にあるゴルフ場に通じている。その一角に国の西の峰無線中継所がある。四つのパラボラを備えた堂々たる無線塔と対面、結局これがお目当ての無線塔であった。このような試行を重ねて、新コースをいくつか設定した。羅列すると、伊野の丘陵、敷ノ山、新宮の森、鴻ノ森周辺、旧北山越、影山、伏尾谷、一宮、薊野方面等である。所要時間は2乃至4時間。今までのエリアの倍はあるだろう。年寄りの冷や水で猪突猛進！朝の散歩を軽登山に切り替えて、カラコルム探訪に備えて

今、高教組は

倉橋楠雄

〇七年六月二〇日、多くの国民の声に耳を傾けることなく、教育三法は自公与党の強行採決で成立してしまいました。

会期末を控えた六月一三日、国会に行ってきました。三法案を廃案に追い込むための中央抗議行動に参加するためです。参議院議員会館前に着き、座り込みに加わると怒りの感覚が戻ってきました。昨年一二月にも中央行動に参加しました。その直後に、教育基本法が改悪されました。街路樹の銀杏の葉はなく寒い日でした。今回は銀杏は緑の鮮やかな姿となっていて、日差しを抑えてくれていました。わずか半年ですが、安倍政権はこの間、防衛庁の防衛省への昇格、少年法、在日米軍再編促進法、イラク特措法改悪、改憲手続き法の制定など、歴代内閣が手をつけることに躊躇せざるを得なかったことを、数の力に任せて次々と成立させてきました。しかしこの間、どのマスコミの世論調査をみても、大多数の国民はこうした動きに「きな臭さ」を感じ、「六〇年間日本の平和と発展に寄与してきた憲法九条を変えるべきでない」と考えています。また、過去の侵略戦争を「正義の戦争だった」と捉える「靖国派」の台頭には、外国からも怒りと懸念の声が上がっています。



一方、自公政権は教育基本法の改悪に続き教育三法を強行採決し、国が上から教育を支配する仕組みを作ろうとやっつきになっていきます。しかし、この「改革」は教育をよくするどころか子どもたちを犠牲にするものであることを父母・国民は見抜いています。私たち高教組は「教え子を再び戦場に送らない」を高く掲げる教職員の良い心にかけて、職場・地域で憲法と教育を語り、「教育・民主主義を守る」すなわち、子どもたちの健やかな成長を保障するという一点で今後全力で取り組みます。その実現のため、今夏の参議院選挙には、私たちの要求実現に向けて協力、共同できる革新候補勝利のために、重大な関心を持って臨みます。



旅のしおり

南 千加良

闘牛をみて  
闘牛をみたその晩のディナーは、珍しく議論になった。闘牛を見た興奮が冷めやらないからである。Iさんは「あれはアートです」という。闘牛士たちは洗練され、立ち居振る舞いと一言、寸分違わずとどめを刺すテクニクはまさに「アートだ」と、私は「所詮牛殺しだ」と、私は「A子は歌舞伎でもあるじゃない、という。しかし、その死には人間性を圧殺する封建制への告発である。洗練された様式はヒューマニズムと一体になってこそアートになるのではないかと、私は譲らな

テロの後で

私たちがマドリッドに着いたのは、テロの一週間後だった。街の至る所に犠牲者を追悼するおびただしい喪章があった。「ゲルニカ」を展示するソフィア王妃芸術センターは、現場のすぐ近くにあったが追悼の二日間を除いて、テロに屈しないため閉鎖しているという。ピカソは「ゲルニカ」のキャンパスに殺戮への怒りをたたきつけるようだった。それは目前のテロを告発しているようであり、イラクからの撤兵をめざす新しい政府を選んだスペイン国民の闘いを激励しているようでもあった。道路を渡った広場には、犠牲者を追悼するブーケや写真が飾られ、ローソクが灯されて人々が祈りを捧げていた。たいげない少女の遺影が痛ましかった。当日は多くの市民が毛布を持って救援に駆けつけ、タクシーは2日間無料で、救急車に早変わりしたという。「あんなにスペインが心を一つにしたことはなかった。」と地元ガイドさんが言う。

矛盾に満ちた歩みの中で

私はとまどった。闘牛場の熱狂と、テロを告発し、一千万のデモで新しい政府を樹立した情熱とはあまりにも大きな違いがあるからである。前者には、奴隷におとされた剣闘士の死闘を楽しむ忌まわしい感情の残滓をみだし、後者には、虐殺を押しとどめて未来を開こうとする巨大な情熱を見たからである。そして、虐げられた人々の哀愁と押さえきれない激情のリズムで人々に感情を揺さぶるフラメンコに、未来を作り伝統に力強さを思わせるには、いられなかつた。だから、所詮、社会もまた人と同じように、矛盾に満ちた道を歩みながら模索するものだろうと自分に言い聞かせた。しかし朗報は以外に早か

老眼鏡

布のいのち

千葉純子

退職したらゆつたりと丁寧に暮らしたいと思っていた。図書館で2週間ごとに2、3冊の本を借りることも計画の1つだった。5年経過した今、20坪ほどの畑仕事があった頃から図書館通いがブツリ途絶えている。このままいけば知識も知恵も話題も枯渇するのではないかと恐怖さえ感じるこのころ。こんな私が読後感を書くのだから無謀で無責任なことの上ない限りです。

今年初め「姥ざかり 花の旅笠」(田辺聖子著)を読んだなかなか面白かった。その本の中で「布のいのち 新版」(堀切辰一著、新科学出版社)を知った。

堀切氏のコレクションは北九州市立自然史歴史博物館に着物や野良着など約2500点收藏されているとのこと。著者は古い時代の普段着や野良着から「心」を汲み取ろうとして収集したのです。それらが語る底辺に生き人々々の嘆きや哀しみ(悲しみではない)とだわっている」と共に、健気で豊かであった心を。

著者は18歳のとき勤務地である北京であらぬ嫌疑をかけられ、憲兵隊に罪人に仕立て上げられた。やっと開放されたが拷問により体はぼろぼろになった。ようようの思いで帰国し、母が仕立ててくれた敷布団に横たわったとき、布団は過ぎ去った日々を思い起こさせてくれ、励まし、なぐさめ、勇気付けてくれた。このとき以来古い布には「心」があると気が付いたという。「故郷に連なつた緋の敷布団」から始まり28編からなつているが、「継ぎあてだらけの腰巻」「女炭坑夫のこと」「白いチョゴリ」「はんでん」が支えたもの」など特に心に染み入るようであった。

中学校の国語のテキストになったり、演劇化されたものもあるそうでさもありなんと納得がいく。物質的な豊かさを得たのと引き換えに私たちが失った大切なものが如何に大きいか訴えている。

た。帰宅後半月ほど経って、自由の風潮が強いバルセロナの市議会が闘牛を禁止したと、ニュースが伝えた。私はすっかりスペインファンになった。

### 相撲ニ知識(七十七)

林 勤

昭和十一年

○覇者交代―玉錦を下し双葉山時代へ…双葉山は夏、新関脇で初優勝。

昭和十二年、十三年

○双葉山無敵時代

11年(夏、関脇)、12年(春、夏、大関)、13年(春、夏、横綱)の五場所連続全勝優勝。

昭和十三年

○双葉山三十五代横綱に。

○玉錦急逝 十二月四日

現役横綱の死は、寛政七年谷風以来で史上三人目。

昭和十四年

○双葉山70連勝成らず

昭和11年春場所7日目から14年春場所3日目まで足かけ四年七場所に亘る史上二位69連勝達成。

昭和十七年

○羽黒山横綱に

四場所連続優勝で終戦直後の混乱期を支えた羽黒山が三十六代横綱に。

昭和十八年

○双葉山第二期黄金時代

春、夏15戦全勝で連覇。

○安芸ノ海、照国が同時に横綱昇進。

昭和二十年

○東京大空襲 三月十日

○両国国技館、両国周辺の相撲部屋焼失。豊島(25歳、最高位関脇)、松浦鴻(29歳、同小結)ら有望力士も命を落とした。

○11月場所後の横綱千代ノ

山新入籍 10戦全勝

当時は同成績の場合は上位力士が優勝のため

横綱羽黒山が優勝。

○11月26日 双葉山が引

退発表(断髪式は21年11月19日)

医療改悪に抗議 福祉充実を

高運連総会・講演会に約90人

高知県高齢者運動連絡会(小澤幸次郎会長)は、五月二十四日、高知市内のソールで、2007年度総会と講演会を開催、約90名が出席しました。

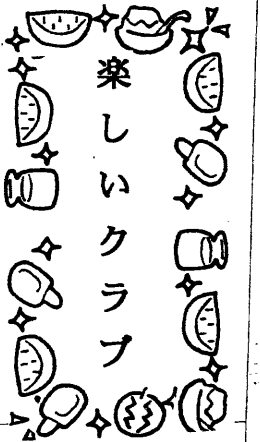
総会では、二〇〇六年度の活動

報告、今年度の活動などが提案され採択されました。そのなかで、「自治体が行ってきた健診が、

○八年度から健保、国保など保険者による新しい健診に変わり内臓脂肪型肥満関係の病氣対策に狭められる心配がある問題で、申し入れ活動の実施など」についてものべられました。

総会では小澤氏を会長に、山岡美和子氏を副会長、事務局長に彼末明氏を選出、十月に県高齢者大会の開催、自治体訪問、署名活動で高齢者の社会保障充実をはかる方針を採択しました。

講演では篠崎次男・日本高齢者運動連絡会事務局長が後期高齢者医療制度について講演。すべての高齢者(七十五歳以上)が強制加入させられ、来年四月から月六千二百円(全国平均)が年金天引きされるなどの医療改悪の内容を批判しました。



### 楽しいクラブ

フライデーテニスクラブ 毎週月・水・金九時半から十二時半、初級・中級にわかれ楽しんでいきます。「春野コート」では若手中心に、「天王コート」では高齢者を中心に活動しています。年二回テニス大会 夏・冬の懇親会 夏・冬の合宿、県テニス大会への参加などの行事が盛り沢山です。楽しく運動できます。高退協の方は梶原まで (tel 088・843・5625)

### スキークラブ

年一回二月頃に、大きくて眺めの良いスキー場を選定し、楽しく元気に滑りを楽しんでいきます。高退協の仲間だけではなく多くの退職者が参加して、年齢を感じさせない滑りを見せています。夜は全員で懇談し賑やかに話をしていきます。冬の苦手な方も、スキーに興味のある方の参加をお待ちしています。

### 読書会

読書会は二ヶ月に一回集まって、それぞれが読んできた課題の本の感想・また胸にある思い・今の世に対する怒りなど自由に話し合っています。この六月に百回を迎え、盛大に(?)祝いました。単純計算でいくと十六年八ヶ月です。本好きな方の参加を期待しています。樋口(882)8185) 小島(843)3007)まで。

### 短歌

人の世

山本晶子

戦なき日本にあれど打ちのめさるる事件は日々において暗かり

溺れ死にし二人子、母を殺めし子悲しきことは人の世に満つ

いつの世もかくてありしか降りかからば狂いてしまわんほどの無惨よ

### 山の会

- 4月 ★★焼山寺山(上岡・和田・中村)
- 5月 ★★大座礼山
- 6月 ★西門山(小島・山口)
- 7月 ★次郎笈(津野・上岡)
- 8月 室堂方面の山(中村・津野・小島)
- 9月 ★200回記念登山:岩黒山、その他(泊)未定:登山後祝宴(山本・小島・山口)
- 10月 ★★天狗塚(山本・上岡)
- 11月 ★中津明神山(中村・和田)
- 12月 ★御在所山(香美市・津野・山口)
- 1月 初歩き=場所未定(小島・上岡・高退協)
- 2月 ★高知北山=西半分(山本・上岡)
- 3月 ★大川山=徳島(津野・上岡)
- 4月 未定

### 早月・水無月の偶詠

梶原忠彦

赤・紫あじさい見つづく行く散

歩「ながせ」近けど今日は青空

(六月六日)

赤や白多に咲きたる石榴花来る年も見せむ眼を病む妻よ

織田作や西鶴書きつつ読みし本アンチ芭蕉聖化はわが意を得たり

(嵐山光三郎「悪党芭蕉」を読む)

### 入院つれづれ

叶岡淑子

赤ちゃんの泣き声よりも救急車のサイレン繁し産婦人科病棟

齢かさね五度の手術を人びとに扶けられ今朝麻酔より覚む

「派遣だから休めません」と清掃員 教え子たちの面影よぎる